

令和4年度「Sport in Life 推進プロジェクト」
(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)
審査基準 (87満点)

<評価項目>

1. 増加方策事業の実施内容に関する評価 (10点満点×6 = 60点)

(以下の(1)～(6)について、公募要領2(1)①～⑥に対応している)

- (1) 「共通テーマ」の設定意図に合致した、スポーツ実施者の増加等の効果が期待できる取組であること。
- (2) 昨今の社会背景・動向等を考慮した上で、今後も多くのスポーツ実施者の増加への寄与が期待できる取組となっていること。
- (3) 実施する事業の内容が、今後各地域・団体・企業等へ横展開することができたり、事業を通じた成果・検証結果等が各地での新たな取組創出におけるヒントや実証事例となり得る取組であること。
- (4) 令和2・3年度に実施したモデル創出事業の実証結果や取組成果を活用し、スポーツ非実施層に対し参加を促す新たな取組モデルを創出する提案となっていること。
- (5) 事業のターゲットとターゲットのスポーツ実施につなげるための阻害要因・促進要因等が適切に分析され、事業の狙いが明確になっていること。
- (6) 次年度以降、国費による支援が無くなったとしても継続・発展していくこと(事業の自走)が可能と見込まれる計画が記載されていること。

2. 増加方策事業の実施体制に関する評価 (5点満点×3 = 15点)

- (1) PT(プロジェクトチーム)が事業内容を適切に遂行するために必要な、人員・組織体制、実績、ノウハウ、ネットワーク等を有していること。
- (2) できるだけ多くの Sport in Life コンソーシアム加盟団体から PT(プロジェクトチーム)が構成されていること(代表団体の Sport in Life コンソーシアム加盟は必須)。
- (3) 代表団体が契約主体として適切な財政基盤、経理能力を有していること。

3. 増加方策事業の実施計画に関する評価 (4点満点×3 = 12点)

- (1) 妥当な経費が示されていること。
- (2) 妥当なスケジュールが示されていること。
- (3) 適切な検証方法が設計されていること。